

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (728), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and expansion direction).

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1519	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 公共下水道の整備	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課						
	③事業主体	個別事業 総合地震対策事業（第三期）	④対象地区		○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市									
	⑤事業期間	平成31年度～令和5年度		⑥担当職員数	4人（換算人数）		0.45人							
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	480,969千円		当該（開始）年度	（当初）	28,415千円（うち人件費 3,915千円）		（変更後）	千円（うち人件費 千円）				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	（計画名）我孫子市総合地震対策事業			
(2) 目的	施策目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の噴出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組みます。				事業目的	緊急輸送路や避難所からの排水を受ける管路等の重要路線の耐震性を確保するため、下水道施設（マンホール等）の地震対策工事を実施する。							
(3) 事業内容	内容	我孫子市下水道総合地震対策計画に基づき、マンホール浮上防止対策及び避難所にマンホールトイレの設置を実施する。 平成30年度に策定した我孫子市下水道総合地震対策計画に基づき、令和元年度から令和5年度の五か年整備計画により事業を実施する。				当該年度執行計画	・4月交付申請 ・マンホール浮上防止工事：5月契約（工期：6月～12月） ・マンホールトイレ設置工事：5月契約（工期：6月～12月） ・資材価格等調査：4月契約（委託期間：4月～5月）							
		当該年度活動結果指標	マンホール浮上防止工事、マンホールトイレ設置工事の進捗率	単位	%	想定値	40		実績値					
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）					指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	下水道総合地震対策計画に基づき事業を進める。					直接	マンホール浮上防止工事、マンホールトイレ設置工事の進捗率		%	0	40			
令和3年度	下水道総合地震対策計画に基づき事業を進める。					直接	マンホール浮上防止工事、マンホールトイレ設置工事の進捗率		%		60			
令和4年度	下水道総合地震対策計画に基づき事業を進める。					直接	マンホール浮上防止工事、マンホールトイレ設置工事の進捗率		%		80			
(7) 事業実施上の課題と対応	マンホール浮上防止工事は、地下埋設物の占有位置を十分調査し、手戻りのないよう工事を実施する。マンホールトイレ設置工事は、利用者の目線で利便性等を検討し、災害時の快適なトイレ環境の確保を行う。					代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		*：地震対策実施設計業務委託（補助事業）		18,000	*：マンホール浮上防止工事（補助事業）		14,000		*：マンホール浮上防止工事（補助事業）		38,000	*：マンホール浮上防止工事（補助事業）		38,000
					*：マンホールトイレ設置工事（補助事業）		6,000		*：マンホールトイレ設置工事（補助事業）		6,000	*：マンホールトイレ設置工事（補助事業）		6,000
					*：附帯工事（起債事業）		3,000		*：附帯工事（起債事業）		3,000	*：附帯工事（起債事業）		3,000
予算（決算）額		合計		18,000	合計		24,500	合計		48,500	合計		48,500	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	50%	9,000	補助率	50%	10,000	補助率	50%	22,000	補助率	50%	22,000	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	45%	8,100	充当率	45%	11,800	充当率	45%	22,600	充当率	45%	22,600	
	一般財源			0			0			0			0	
その他の財源	■特会 ■受益 □基金 □その他		900	■特会 ■受益 □基金 ■その他		2,700	■特会 ■受益 □基金 ■その他		3,900	■特会 ■受益 □基金 ■その他		3,900		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.45			0.45			0.45			0.45		
	正職員人件費		3,960		3,915		3,915		3,915			3,915		
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0			0		
	臨時職員賃金額		0		0		0		0			0		
事業費（予算（決算）額+正職員人件費）			21,960		28,415		52,415		52,415			52,415		
(11) 単位費用（事業費/活動結果指標）			219.6千円/%		710.38千円/%									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	事前評価					事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））					改善検討
	下水道は重要なライフラインであり、地震等の災害で被災した場合には重大な事態を生じるおそれがある。このため「我孫子市下水道総合地震対策計画」に基づき事業を行う必要がある。					○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 <その他の内容>					□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>					○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである（理由） □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 <その他の内容>										
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容					実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）					改善検討
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし					参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>					○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点					実施した具体的な内容					改善検討
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>					環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (%)	目標値(b) (%)	目標値の妥当性のチェック			達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成			改善検討
	0	40	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である			実績値(f) (%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			改善検討
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>			実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	<想定どおり削減できなかった原因>			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下			改善検討
	0.14		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：（目標値－現況値）×費用単位/事業費			実績値(h)	対目標値(%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>			

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善案及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表(令和2年度)

Header table with columns: 事業コード (1689), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and checkboxes for assessment.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for progress and completion.

Final evaluation and improvement direction section with a text box for comments.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2049	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	政策	経常	なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	----	----	----

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	下水道事業の健全経営の確保			実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課		
		個別事業	消費税及び地方消費税の申告・納税									
	③事業主体	●市 ○その他 ( )			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.4人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	41,449千円			当該(開始)年度	(当初)	44,742千円 (うち人件費 3,480千円)				
						(変更後)	千円 (うち人件費 千円)					
⑧施策の位置づけ	施策コード	62202		重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	下水道事業の健全経営を確保するため、未接続世帯への働きかけにより水洗化率を高めるとともに、下水道使用料や受益者負担金の未納者への督促を強化し、増収に努めます。また、地方公営企業法の適用に取り組みます。				事業目的	消費税及び地方消費税の適正な申告に努める。					
(3) 事業内容	内容	消費税及び地方消費税の申告書を作成し、納税をする。				当該年度執行計画	令和2年9月30日までに、平成31年度(令和元年度)分の確定申告を行い、納税をする。					
						当該年度活動結果指標	適正な納税をするための、確定申告を行う回数。	単位	回	想定値	1	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)					指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	適正な確定申告を行い、納税をする。					直接	適正な納税をするための、確定申告を行う回数。		回	0	1	
令和3年度	適正な確定申告を行い、納税をする。					直接	適正な納税をするための、確定申告を行う回数。		回		1	
令和4年度	適正な確定申告を行い、納税をする。					直接	適正な納税をするための、確定申告を行う回数。		回		1	
(7) 事業実施上の課題と対応	令和2年4月の企業会計化により、消費税の算出方法が従前より変更となる。特定収入の取扱いや消費税改正など、公営企業の消費税に関しては難解な部分が多く、公営企業の消費税について専門性を有する公認会計士、税理士等と相談し、適正な申告、納税を行っていく必要がある。					代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			消費税及び地方消費税(雨水分含む)	32,472		消費税及び地方消費税(雨水分含む)	40,569				消費税及び地方消費税(雨水分含む)	40,569
			消費税業務支援委託料 ・申告書作成、提出及び税務代理 ・公営企業会計化に伴う	253		会計顧問業務委託料 ・申告書作成、提出及び税務代理 ・公営企業会計化に伴う	165				会計顧問業務委託料 ・申告書作成、提出及び税務代理	253
			* 2020年度予算書類等の作成指導	165		* 税務・会計顧問及び決算書類作成指導 月額44,000円*12月	528				* 税務・会計顧問及び決算書類作成指導 月額44,000円*12月	528
	予算(決算)額	合計	32,890		合計	41,262			合計	41,262	合計	40,822
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%
	一般財源		0	0		0	0		0	0		0
	その他の財源	■特会 □受益 □基金 □その他	32,890	■特会 □受益 □基金 ■その他	41,262	■特会 □受益 □基金 ■その他	41,262	■特会 □受益 □基金 ■その他	41,262	■特会 □受益 □基金 ■その他	40,822	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.6		0.4		0.4		0.4		0.4		
	正職員人件費	5,280		3,480		3,480		3,480		3,480		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	38,170		44,742		44,742		44,742		44,302		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	38,170千円/回		44,742千円/回									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)												
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価					事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))					改善検討	
	消費税及び地方消費税の納税義務があるため。					○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他					□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由>					○要 ○不要	
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他					□②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>						
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容					実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)					参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 自治体である市に納税義務があるため。										○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点					実施した具体的な内容					環境への配慮	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし。										○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(回)	目標値(b)(回)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>				○要 ○不要	
	0	1	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(回)	達成率(%) (f/b×100)					
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>				○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100						
	事業費削減率(%)		<削減の内容>			<超過理由等>						
	△17.22											
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>				○要 ○不要
	0	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100						

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善案及び展開方向				

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2061	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 公共下水道の整備 個別事業 下ヶ戸西側地区の整備	実施計画への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		②部課名	建設部・下水道課							
	③事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> その他 ( )		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input checked="" type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市									
	⑤事業期間	平成31年度 ~ 令和7年度			⑥担当職員数	4人 (換算人数) 0.4人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	364,200千円		当該(開始)年度	(当初)	45,980千円 (うち人件費 3,480千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 部門別計画への位置づけ (計画名) 五か年整備計画						
(2) 目的	施策目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の湧出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組みます。			事業目的	下ヶ戸西側地区(区画整理地区)の下水道整備を行い、良好な生活環境の形成を図る。								
(3) 事業内容	内容	衛生的で快適な生活環境を確保するために、下ヶ戸西側地区(区画整理地区)の下水道整備を行う。			当該年度執行計画	・4月交付金申請 ・下水道管布設工事(補助事業)：5月契約(工期：6月~12月) ・ガス移設補償(起債事業)：4月契約(工期：5月~6月) ・家屋事前調査：4月契約(委託期間：5月~6月)								
		当該年度活動結果指標	公共下水道管渠布設延長		単位	m	想定値	217						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	整備計画に基づき、下水道の整備を実施する。				直接	公共下水道管渠布設延長		m	0	217				
令和3年度	整備計画に基づき、下水道の整備を実施する。				直接	公共下水道管渠布設延長		m		841				
令和4年度	整備計画に基づき、下水道の整備を実施する。				直接	公共下水道管渠布設延長		m		1,241				
(7) 事業実施上の課題と対応	当該地区は、ガス、水道、NTT等の地下埋設物が集中しているため、占用位置を十分調査し、安全に工事を実施する。				代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		* 舗装復旧工事(補助事業)	4,100	* 下水道管布設工事(補助事業)	32,000	* 下水道管布設工事(補助事業)	39,000	* 舗装復旧工事(補助事業)	10,880					
		* 舗装復旧工事(起債事業)	10,500	* 附帯工事(起債事業)	3,000	* 下水道管布設工事(起債事業)	6,400	* 舗装復旧工事(起債事業)	1,600					
		* マンホールポンプ設置工事(補助事業)	20,000	* ガス移設補償費(起債事業)	6,500	* 附帯工事(起債事業)	3,000	* 下水道管布設工事(補助事業)	25,600					
* 附帯工事(起債事業)	3,000	* 家屋事前調査業務委託	1,000	* 家屋事後調査・補償費精算業務委託	1,500	* 下水道管布設工事(起債事業)	6,400							
* 資材等価格調査業務委託	2,000					* 附帯工事(管布設)(起債事業)	3,000							
						* 附帯工事(舗装)(起債事業)	500							
						* 家屋補償費	1,500							
予算(決算)額	合計		39,600	合計	42,500	合計	49,900	合計	49,480					
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	50%	12,050	補助率	50%	16,000	補助率	50%	18,240				
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0				
	起債	充当率	45%	23,625	充当率	45%	23,400	充当率	45%	26,866				
	一般財源			0			0			0				
その他の財源	■特会 ■受益 □基金 ■その他		3,925	■特会 ■受益 □基金 ■その他	3,100	■特会 ■受益 □基金 ■その他	3,920	■特会 ■受益 □基金 ■その他	4,374					
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.35		0.4		0.4		0.4					
	正職員人件費		3,080		3,480		3,480		3,480					
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0					
	臨時職員賃金額		0		0		0		0					
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			42,680		45,980		53,380		52,960					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			426.8千円/%		211.89千円/m									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	当該地区は、土地区画整理事業により宅地造成された地区であり、下水道は未整備となっているため、地元住民からも下水道整備の要望が強い地区である。				<input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 <その他の内容>				<input type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>				○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> 自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 <その他の内容>								
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容				工夫の具体的な内容				改善検討
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他 <その他の内容> 該当なし				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容) 参加・協働の程度・内容 <input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点				取組む内容				改善検討
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input checked="" type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容>				リサイクル材(再生材)の活用				<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(m)	目標値(b)(m)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	0	217	<input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(m)	達成率(%) (f/b×100)			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過 事業費の削減対策について <input type="checkbox"/> ①事前の想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<input checked="" type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
	0.47	単位 費用単位	<input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100			

3. 事後評価									
<input type="checkbox"/> 現状どおり推進 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 結合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業手法見直し <input type="checkbox"/> その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善案及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2062	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 公共下水道の整備	個別事業 青山地区の流域下水道への接続事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課						
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	○我孫子 ■天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ○全市									
	⑤事業期間	平成27年度 ~ 令和4年度		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.25人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	175,200千円		当該(開始)年度	(当初)	7,775千円 (うち人件費 2,175千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	五か年整備計画			
(2) 目的	施策目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の噴出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組みます。			事業目的	青山地区他の公共下水道は、平成29年度に流域下水道（手賀沼北部第二幹線）への接続切替が完了し、青山汚水中継ポンプ場の運転を停止している。今後、当該ポンプ場に接続する圧送管及び流入管を撤去・閉塞し、安全な道路交通等を確保する。								
(3) 事業内容	内容	当該ポンプ場は、すでに供用開始してから20年余りが経過し、老朽化にむかわ、流域下水道（手賀沼北部第二幹線）の完成により青山地区他の公共下水道は、平成29年度に流域下水道への接続切替え工事を実施し、完了した。切替え完了後は、当該ポンプ場を災害用マンホールトイレ等の資機材置場として一時的に活用している。今後、当該ポンプ場に接続する圧送管及び流入管を撤去・閉塞し、道路陥没等の事故防止に努める。			当該年度執行計画	・圧送管閉塞工事；5月契約（工期：6月～10月） ・圧送管閉塞に伴うJR協議 ・青山汚水中継ポンプ場財産処分協議								
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	%	想定値	20				
当該年度	圧送管閉塞工事を実施する。			直接	圧送管閉塞工事の進捗率		%		実績値	0				
令和3年度	圧送管閉塞工事を実施する。			直接	圧送管閉塞工事の進捗率		%			70				
令和4年度	圧送管及び流入管閉塞工事を実施する。			直接	圧送管閉塞工事の進捗率		%			100				
(7) 事業実施上の課題と対応	青山汚水中継ポンプ場は、平成29年度の流域下水道への接続切替え工事に伴い、運転を停止しており、圧送管、流入管を撤去・閉塞し、安全な道路交通等を確保する必要がある。また、財産処分手続きについて千葉県との協議を行う。			代替案検討	○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		*	圧送管、流入管閉塞実施設計	4,100	*	圧送管閉塞工事（閉塞処理） 青山汚水中継ポンプ場財産処分協議	5,600	0	*	圧送管閉塞工事（開削撤去）	37,200	*	圧送管及び流入管閉塞工事（閉塞処理） 舗装復旧工事	8,280 12,400
		合計	4,100	合計	5,600	合計	37,200	合計	20,680					
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0				
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0						
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0						
一般財源		0		0		0		0						
その他の財源	■特会 □受益 □基金 ■その他	4,100	■特会 □受益 □基金 ■その他	5,600	■特会 □受益 □基金 ■その他	37,200	■特会 □受益 □基金 ■その他	20,680						
(9) 財源内訳	換算人数(人)	0.4		0.25		0.25		0.25						
(10) 人件費等	正職員人件費	3,520		2,175		2,175		2,175						
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0						
	臨時職員賃金額	0		0		0		0						
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	7,620		7,775		39,375		22,855						
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	76.2千円/%		388.75千円/%											

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	青山汚水中継ポンプ場は、平成29年度に公共下水道を流域下水道へ切替えたことから、ポンプ運転を停止している。当該ポンプ場に接続する圧送管及び流入管が道路に埋設されており、道路陥没等の危険を伴うことから撤去・閉塞のための調査・設計・工事を早期に実施する必要がある。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他  ○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 該当なし							○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	
環境への配慮	配慮の視点			取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他  <その他の内容>			リサイクル材(再生材)の活用				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	0	20	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%) 達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	事業費削減率(%)		実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
	7,775	△155	△2.03		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.26	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 2166 課コード 0603 会計種別 公営企業会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ
(2) 目的: 施策目的・展開方向
(3) 事業内容: 内容
(4) 達成目標 (期待する成果): 当該年度, 令和3年度, 令和4年度
(7) 事業実施上の課題と対応
(8) 施行事項: 実施内容費用
(9) 財源内訳: 国庫支出金, 県支出金, 起債, 一般財源
(10) 人件費等: 換算人数, 正職員人件費, 嘱託職員報酬額, 臨時職員賃金額
(11) 単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が必要である理由・背景は? (2) 市が実施する必要性はあるか? (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (4) 環境に配慮して事業を進めているか? (5) (1) 目標設定は適切か? (6) (2) 事業費削減の工夫をしているか? (7) (3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価: 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2170), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown by year (平成31年度, 令和2年度, 令和3年度, 令和4年度).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a progress status row (現状どおり推進, 拡充, etc.)



事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2179), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes a status legend at the top.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2203), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and expansion direction).

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2208	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 維持管理の充実	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課						
	③事業主体	個別事業 久寺家1・2丁目地区不明水対策事業（N○5流域）	④対象地区		■我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 □全市									
	⑤事業期間	平成31年度～令和5年度		⑥担当職員数	5人（換算人数）		0.5人							
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	8,350千円（うち人件費 4,350千円）		（変更後）	千円（うち人件費 千円）				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	（計画名）	五か年整備計画		
(2) 目的	施策目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の噴出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改修に取り組みます。				事業目的	当該地区は、大雨時に下水道マンホールから溢水するため、調査によって原因を把握し、適正な対策工事を行い、管路、マンホール等の下水道施設の機能を保持できるよう努める。							
(3) 事業内容	内容	当該地区は、平成29年度から現況を的確に把握するための不明水実態調査解析を行っている。この結果を踏まえ、平成30年度に流末エリアでTVカメラを使用した詳細調査・解析（本管、人孔）、令和元年度にも同様の調査・解析（取付管）を行い、令和2年度以降、実施設計、補修工事を行う。				当該年度執行計画	・不明水対策実施設計業務委託；5月契約（工期：6月～12月）							
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標		単位	%	想定値	20			
当該年度	不明水対策実施設計業務委託を実施する。				直接	不明水対策事業（設計・補修）の進捗率		%		実績値	0			
令和3年度	不明水対策補修工事を実施する。				直接	不明水対策事業（設計・補修）の進捗率		%			60			
令和4年度	不明水対策補修工事を実施する。				直接	不明水対策事業（設計・補修）の進捗率		%			100			
(7) 事業実施上の課題と対応	調査・補修工事は、住民への説明を十分行い、事業への理解を得ながら進めていく必要がある。				代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	平成31年度		令和2年度				令和3年度		令和4年度					
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
	*	不明水詳細調査解析（取付管）業務委託（TVカメラ調査）	4,000	*	補修実施設計業務委託（N○5流域）	4,000		*	不明水対策補修工事（N○5流域）	5,000	*	不明水対策補修工事（N○5流域）	5,000	
	予算（決算）額	合計		4,000	合計		4,000	合計		5,000	合計		5,000	
	(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源		0		0		0		0			0		
	その他の財源	■特会 □受益 □基金 ■その他	4,000	■特会 □受益 □基金 ■その他	4,000	■特会 □受益 □基金 ■その他	5,000	■特会 □受益 □基金 ■その他	5,000	■特会 □受益 □基金 ■その他	5,000	■特会 □受益 □基金 ■その他	5,000	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
	正職員人件費		4,400		4,350		4,350		4,350		4,350		4,350	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		0		0	
	事業費（予算（決算）額+正職員人件費）		8,400		8,350		9,350		9,350		9,350		9,350	
(11) 単位費用（事業費/活動結果指標）	84千円/%		417.5千円/%											

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	当該地区は、大雨時に下水道マンホールから汚水が溢水し、地元住民から調査、対策の要望もあるため、早期の対応を要する。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 該当なし				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他  <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (%)	目標値(b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成				
	0	20	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f) (%)	達成率 (%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
			実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費削減額(d) (千円)		実施状況		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>				
	事業費(c) (千円)	8,350	50	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		実績値(g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	<超過理由等>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下			
	0.24	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2225	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 公共下水道の整備	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課					
		個別事業 久寺家1・2丁目地区の整備											
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	<input checked="" type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市								
	⑤事業期間	平成31年度 ~ 令和6年度		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.25人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 29,795千円 (うち人件費 2,175千円) (変更後) 千円 (うち人件費 千円)							
⑧施策の位置づけ	施策コード	62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		部門別計画への位置づけ (計画名)	五か年整備計画			
(2) 目的	施策目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の湧出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組みます。				事業目的	当該地区の汚水は、地区内にある汚水処理中継所に流入し、ポンプ排水によって、久寺家処理場(クリーンセンター管理)にて処理されている。下流部において、平成25年度に流域下水道への切替えが完了していることから、早期に設計業務を着手し、下水道整備を行う。						
(3) 事業内容	内容	衛生的で快適な生活環境を確保するために、久寺家1・2丁目地区の下水道整備を行う。平成31年度は現地調査により占用物件等を把握し、令和2年度以降、下水道の基本設計、実施設計を行う。				当該年度執行計画	・4月交付申請 ・実施設計業務委託(補助事業)：5月契約(委託期間6月~12月) ・試掘工事：6月契約						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	%	想定値	100		
当該年度	下水道実施設計業務委託を実施する。					直接	下水道実施設計業務委託の進捗率	%		0	100		
令和3年度	整備計画に基づき、下水道の整備を実施する。					直接	公共下水道管渠布設延長	m			520		
令和4年度	整備計画に基づき、下水道の整備を実施する。					直接	公共下水道管渠布設延長	m			1,062		
(7) 事業実施上の課題と対応	当該地区は、地下埋設物が集中しているため、占用位置を十分調査し、安全に工事を実施する。					代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
		*: 現地調査及び占有者との協議	0		*: 下水道実施設計(補助事業)	22,700		*: 下水道管渠布設工事(補助事業)	104,000	*: 舗装復旧工事(補助事業)	10,400		
					*: 下水道基本設計	3,920		*: 附属工事(起債事業)	3,000	*: 下水道管渠布設工事(補助事業)	108,400		
					*: 試掘工事	1,000				*: 附属工事(管渠布設)(起債事業)	3,000		
予算(決算)額	合計		0	合計		27,620	合計		107,000	合計		122,300	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	50%	11,350	補助率	50%	52,000	補助率	50%	59,400
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	45%	10,200	充当率	45%	49,650	充当率	45%	56,310
	一般財源			0			0			0			0
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		0	<input checked="" type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	6,070	<input checked="" type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	5,350	<input checked="" type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	6,590				
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.1		0.25		0.25		0.25					
	正職員人件費	880		2,175		2,175		2,175					
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0					
	臨時職員賃金額	0		0		0		0					
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	880		29,795		109,175		124,475						
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	8.8千円/%		297.95千円/%										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	当該地区の汚水は、地区内にある汚水処理中継所に流入し、ポンプ排水によって、久寺家処理場(クリーンセンター管理)にて処理されている。下流部において、平成25年度に流域下水道への切替えが完了していることから、早期に設計業務を着手する必要がある。				<input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input checked="" type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他				<input type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他				<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
	<input type="checkbox"/> 自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他								
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容				工夫の具体的な内容				改善検討
	<input type="checkbox"/> 事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> 事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> 管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> 市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> 市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点				実施した具体的な内容				改善検討
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手質沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他				環境への配慮				<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		達成率(%)		<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
	0	100	<input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ②現行体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実績値(g)(千円) 対事業費(%) $(g/c) \times 100$		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未満 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>		<想定どおり削減できなかった原因>		
△3,285.8									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		達成率(%)		<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
	0.34	単位	費用単位	<input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) $(h/e) \times 100$		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	

3. 事後評価									
<input type="checkbox"/> 現状どおり推進 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 結合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業手法見直し <input type="checkbox"/> その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2258	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 維持管理の充実	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課			
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区		<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	令和2年度～令和6年度		⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.4人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	7,480千円 (うち人件費 3,480千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不排水によるマンホールからの汚水の湧出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組みます。			事業目的	千葉県流域関連公共下水道の不排水対策について、3流域共通の「流域関連公共下水道における不排水対策マニュアル」を作成し、各流域で不排水対策5ヵ年計画を策定し、流域市町全体で不排水対策を実施し、雨水浸入の原因を排除する。					
(3) 事業内容	内容	手賀沼流域関連公共下水道の不排水対策5ヵ年計画（令和2年度～令和6年度）に基づき、大雨時の汚水溢水等に対し、適正な対策を行い、管路、マンホール、宅内設備等の下水道施設の機能を保持できるよう努める。令和2年度から、誤接続を確認するための送煙調査と雨水の浸入を防ぐためのマンホール蓋穴閉塞等を行う。			当該年度執行計画	・不排水対策送煙調査業務委託（新木野地区）；5月契約（6月～10月） ・マンホール蓋穴閉塞					
		当該年度活動結果指標	不排水対策送煙調査業務委託の進捗率	単位	%	想定値	20		実績値		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	不排水対策5ヵ年計画に基づき、不排水対策送煙調査業務委託を実施する。			直接	不排水対策送煙調査業務委託の進捗率		%	0	20		
令和3年度	不排水対策5ヵ年計画に基づき、不排水対策送煙調査業務委託を実施する。			直接	不排水対策送煙調査業務委託の進捗率		%		40		
令和4年度	不排水対策5ヵ年計画に基づき、不排水対策送煙調査業務委託を実施する。			直接	不排水対策送煙調査業務委託の進捗率		%		60		
(7) 事業実施上の課題と対応	不排水対策調査等については、住民への説明を十分行い、事業への理解を得ながら進めていく必要がある。			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
					*	不排水対策送煙調査業務委託 マンホール蓋穴閉塞	4,000 0	*	不排水対策送煙調査業務委託 マンホール蓋穴閉塞	4,000 0	
		予算(決算)額	合計	0	合計	4,000	合計	4,000	合計	4,000	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
	一般財源		0		0		0		0		
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input checked="" type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	4,000	<input checked="" type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	4,000	<input checked="" type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	4,000		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0		0.4		0.4		0.4		
	正職員人件費		0		3,480		3,480		3,480		
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		0		7,480		7,480		7,480		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0千円/**		374千円/%								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	千葉県流域関連市町で公共下水道の不排水対策に取り組むものである。大雨時に下水道マンホールから汚水が溢水し、維持管理上の問題となっており、地元住民から調査、対策の要望もあるため、早期の対応を要する。				<input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input checked="" type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他		<その他の内容> 該当なし				<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他		<その他の内容> 該当なし				<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>	
	0	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	(f/b)×100			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過 <想定どおり削減できなかった原因>
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現行体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%)		<超過理由等>	
	7,480	—	<削減の内容>						○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要
	0.27	単位 費用単位	<input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	(h/e)×100			

3. 事後評価										
<input type="checkbox"/> 現状どおり推進 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 結合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業手法見直し <input type="checkbox"/> その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2259	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 公共下水道の整備	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課							
	③事業主体	個別事業 柏市共用管の建設事業	④対象地区	<input checked="" type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市										
	⑤事業期間	令和2年度～令和2年度		⑥担当職員数	3人 (換算人数) 0.2人									
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	15,263千円		当該(開始)年度	(当初)	15,263千円 (うち人件費 1,740千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無                     部門別計画への位置づけ (計画名)						
(2) 目的	施策目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の湧出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改良に取り組みます。			事業目的	根戸地区の下水道整備を行い、良好な生活環境の形成を図る。								
(3) 事業内容	内容	根戸地区の下水道整備を行い、衛生的で快適な生活環境を確保する。当事業は、我孫子市と柏市の共用管であり、公共下水道事業に関する基本協定書に基づき、柏市が管渠等の工事をを行い、工事に要する費用を案分して負担する。			当該年度執行計画	柏市が施工する共用管工事費用の負担								
		当該年度活動結果指標	共用管工事の進捗率	単位	%	想定値	100		実績値					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値					
当該年度	柏市が公共下水道事業に関する基本協定書に基づき、共用管工事を実施する。我孫子市はその費用を負担する。			直接	共用管工事の進捗率		%	0	100					
令和3年度				-					0					
令和4年度				-					0					
(7) 事業実施上の課題と対応	共用管工事は、住民への説明を十分行い、事業への理解を得ながら進めていく必要がある。			代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無									
(8) 施行事項	実施内容費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
						* 柏市共用管建設負担金	13,523							
		予算(決算)額	合計	0	合計	13,523	合計	0	合計	0				
		(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0					
	起債	充当率 0%	0	充当率 95%	12,820	充当率 0%	0	充当率 0%	0					
	一般財源		0		0		0		0					
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input checked="" type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	703	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0					
(10) 人件費等	換算人数(人)		0		0.2		0		0					
	正職員人件費		0		1,740		0		0					
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0					
	臨時職員賃金額		0		0		0		0					
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		0		15,263		0		0					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0千円/**		152.63千円/%											

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	当該地区は、我孫子市と柏市の市境に位置し、両市が行う手賀沼流域関連公共下水道事業である。地元住民からの要望が強く、早期に整備を行う必要がある。				<input type="checkbox"/> ①事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<input checked="" type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input checked="" type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> ②市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> ⑤サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> ⑥サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> ⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画あり <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画あり <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画あり <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他		<その他の内容> 該当なし				<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他		<その他の内容> 該当なし				<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成		○要 ○不要		
	0	100	<input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要	
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過		事業費の削減対策について <input type="checkbox"/> ①事前の想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現行体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<超過理由等>		○要 ○不要	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下		○要 ○不要	
	0.66		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要	

3. 事後評価										
<input type="checkbox"/> 現状どおり推進 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 結合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業手法見直し <input type="checkbox"/> その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					